

1－（１２）京都国立博物館の機能の充実

（文化庁）

京都国立博物館は、明治 30 年の開設以来、千年の古都京都の文化財を中心に展示・保存・研究することを使命とし、伝統的文化財である貴重な美術品を保護し、保管するとともに、その展示公開を通して、国内外の人々に日本文化の真髄を理解していただく場を提供するなどの活動を進めておられます。

この京都国立博物館において、収蔵品を代表する貴重な美術工芸品が常設展示される「平常展示館」の建て替えが計画され、京都市としてもその推進を要望してきたところ、平成 19 年度の先行工事等に引き続き、平成 20 年度に、既設建物取り壊し工事及び本体工事が行われることとなりました。

今後も、本計画の着実な推進が図られることにより、同館が、平安建都以来蓄積されてきた京都の文化財を活かしつつ、日本の伝統文化についての中心的・指導的役割を果たすとともに、京都市とも連携を図りながら、京都に無数に散在する伝統文化・文化財の全市的・集中的な発信力を高めるための重要な施設としての機能を発揮することが期待されます。このことは、日本文化の魅力が凝集する歴史都市・京都の創生を目指す京都市にとりましても大きな意義を持つものです。

京都国立博物館が、施設の老朽化や地震等への対策はもとより、京都が源流たる日本伝統文化の、世界に誇れる殿堂にふさわしい規模・内容となるよう、平常展示館の建て替えを着実に推進されることを要望します。

要望事項

「日本の伝統文化の殿堂」、「京都の文化の重要な発信拠点」にふさわしい、充実した規模・内容を備えた施設の実現に向けた、建て替えの着実な推進

主な要望先：文化庁（文化財部美術学芸課）

京都市の担当課：文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課 計画推進担当課長 並川哲男

TEL 075-222-4105

文化市民局 文化芸術都市推進室 文化財保護課長 梶川敏夫 TEL 075-761-7799